

広域の生息状況調査を行い、関係団体や地域と連携し、生息状況を基に効果的な防除対策を進めている。

(3) 江津湖の生態系について

a. 外来魚対策について

環境局長答弁

外来魚対策は、「被害防止に関する条例」に基づく指定外来魚として放流及び再放流を禁止し、釣り上げた指定外来魚を回収するいけすや電気ショッカー船での駆除を継続する。平成27年度から令和3年度までに5,331匹を駆除している。

b. 外来種の水草について

環境局長答弁

「コウガイセキショウモ」と思われる水草は、近年、日本各地で確認され、繁殖力が強いことから国が定める「生態系被害防止外来種リスト」の重点対策外来種に選定されており、繁茂を防ぐため継続的な除去が必要。

江津湖の外来種水草は、指定管理業務団体やボランティア団体の活動で年間約1,500トン除去しており、今後も繁茂状況を把握して市民団体や関係部局と連携協力し、継続的に除去に務める。

5 外国避難民への支援について

村上：ミャンマー軍の軍事クーデターから約1年7か月、ロシアのウクライナへの軍事侵攻から約7か月、熊本市にはミャンマーを母国とする市民が120名余、ウクライナを母国とする市民が6名おられます。毎日、母国の両親や兄弟、親戚、友人などの情勢を気かけながらの日常生活を送られている人たちも熊本市民です。市長は両国を母国とする市民に対してどのような気持ちを持たれているのか、見解を教えてください。

大西市長：ウクライナやミャンマーで犠牲になられた方々に、心から哀悼の意を表するとともに、現地の状況を憂慮している。本市でのウクライナ避難民への支援は、市営住宅の確保や国際交流会館が中心となり生活全般への相談対応を行う。また、ミャンマー出身の市民だけでなく、困りごとある全ての外国人に対しても国際交流会館に設置した外国人相談プラザで相談対応や情報提供だけでなく、必要な支援を行う。国籍に関わらず本市に住んでいる方は、熊本市民であり、安全・安心な生活のため寄り添った支援に取り組む。

市議会議員村上ひろしの

NEW & GOODS

vol. 12



◀村上ひろし公式ホームページ

〒862-0976 熊本市中央区九品寺3丁目4-20  
TEL(096)245-6910 FAX(096)245-6714

2022年12月発行

私たちの生活や子どもたちが健やかに育つ環境に

サッカーのFIFAワールドカップでは、悲願のベスト8には届かなかったものの、日本中が大いに沸きました。スポーツの持つ力には驚きました。特に日本が、初戦で、5回の優勝経験の強豪ドイツに逆転勝利の直後、さらには、あのスペインに逆転勝ち、決勝トーナメントへ1位での進出を決め、熱狂の渦でした。当初、ドイツ、スペインと同じグループの組み合わせに、多くの人が決勝進出を諦めたのではないのでしょうか。ところが、予想を大きく裏切った決勝進出、こんな裏切りなら大歓迎です。

ワールドカップとは逆に、目を離せないのが今の国会です。とても酷い状況です。「先の衆議院選挙で黄金の3年間を手に入れた」と表現された岸田政権ですが、支持率低下も加わり、政治評論家やマスコミから厳しい指摘です。身内の自民党からも、「判断、決断が遅い」と、批判のコメント。岸田総理が任命した大臣を、ひと月で三人も更迭する状況に追い込まれ、さらには、後にもまだ「問題の大臣」がいるのです。国民は当初、岸田内閣に怒りを感じ、呆れましたが、日常生活を必死に生きている国民からは見限られています。

しかし、私は、逆の意味で見限らないで欲しいと思います。岸田政権は、私たちが選んだ政権です。自民党に投票しなくても民主的な選挙で多数を占めた政党が政権を組閣するのは、民主主義の根幹です。ですから、結果的に私たちが選んだ政権と同じです。それが民主主義の仕組みです。

私は、民主主義の常道、選挙で政権を変え、子どもたちが健やかに育つ環境に日本を変えたい、と考えます。時間と手間ヒマがかかりますが、決して政治を諦めないで欲しい、と心から願います。

村上ひろし

村上ひろしの活動

長溝団地大雨による浸水被害～ゆめタウンはません横(出水7丁目)用水路改良後までの記録

住民からの連絡で、長溝団地浸水当時の被害状況を聞き取り調査一般質問を行う

2021年9月の一般質問で取り上げる。

現地で住民から浸水被害の説明を聞き、改良工事の要望を聴取

土木センターと住民を交え意見交換を行い、工事の要望を伝える

草の群生を招く原因の特定

水草除草工事の様子を確認

重機での除草工事を確認

出水7丁目(ゆめタウンはません)用水路改良工事

用水路の改良工事前の状態

用水路の改良工事後の現地を確認

現地で住民から工事中の説明を聞く

用水路改良工事中の様子を確認

用水路改良・拡幅工事完了後の現地を確認

村上ひろしの活動

花畑広場地下駐車場 地上に行けないエレベーター 改修工事を要望しています。

熊本商業高校前、健軍校前電停など、狭小電停の現地調査。狭小電停解消工事が始まります。

熊本城稲荷神社上歩道改修工事後

要望の結果、歩道拡幅で車いすやベビーカーが通れるようになりました。

トタン屋根のケーキ屋さん アラモート 新本高志さんと。



## 9月議会一般質問報告

## 1 福祉問題

## (1) 「社会的養護の推進について」

## 「児童虐待を受けた“権利の主体者の子どもたち”」

警察庁が発表した統計では、2021年(令和3年)の児童虐待の疑いによる児相への通告は10万8050人で過去最多を更新した。社会的養護を必要とする子どもたちが増え続けている。

## \*「国 里親制度に大きく舵を切る」

児童虐待が1990年から31年間、右肩上がりが増え続ける現状から、国は2016年(平成28年)から里親制度に大きく舵を切った。里親を増やし、里親の研修を行い里親を支援するなど、包括的に里親制度を進めるのが「フォスタリング機関」である。

## \*「里親委託率 全国最下位の熊本市(平成30年)」

児童福祉の関係者からは、里親委託率の全国ランキングで平成30年に最下位になった事もあり、人口74万人の熊本市には、各区に1カ所のフォスタリング機関が必要との声がある。「熊本市の取り組みは手ぬるい」との厳しい評価がある。

## \*「各区にフォスタリング機関を!!」

このような熊本市の現状から、現在フォスタリング機関は、中央区に1カ所あるが、各区に1カ所、全部で5カ所に設置すべき!!と要求し、健康福祉局長に決意を求めた。

## 健康福祉局長答弁

フォスタリング機関が機能を十分に発揮できるよう、体制の充実について検討していく。

と述べるに留まった。

## (2) ファミリーホームの位置づけについて

## 健康福祉局長答弁

定員6名まで複数の子どもを養育するファミリーホームは高い養育スキルが求められるとの認識を示し、ファミリーホームを運営している里親のニーズに合わせた支援に努め、また、フォスタリング機関・関係機関・区役所と連携した支援体制によるサポート体制の充実を図るなどの支援を行う。と述べるにとどめ、フォスタリング機関の各区への増設については明言を避けた。

## (3) 「医療的ケア児支援法による支援センター設立について」

## 教育長答弁

来年度、小学校に3人の入学を予定している学校とともに「あいぱる」の教育相談室が相談を担っていること、必要に応じて総合支援課所属の看護師チームが同席するなど本人・保護者が安心して相談できるよう配慮している。

## (4) 「医療的ケア児支援センター設立について」

## 健康福祉局長答弁

「医療的ケア児支援センター」の設立については「支援法」に都道府県を設置主体とすることが法に示されており、熊本県は「熊本大学病院小児在宅医療支援センター」を「熊本県医療的ケア児支援センター」に指定。熊大の同センターとの緊密な連携を図ることで本人及び家族への効果的な支援に取り組む。

と強い決意を示した。

## (5) 「障がい者への大学就学支援助成金が決定!!」

## 健康福祉局長答弁

4月に入学した医療的ケアを必要とする学生から相談を

受け、障害保健福祉課に対応を求めた。同課は本年度始まったばかりの国の地域生活支援促進事業を活用、助成制度にいち早く申請し、9月に申請が受け付けられ直ちに大学側に助成された。今後も重度の障害者が大学への夢をあきらめることなく、安心して就学できる道が広がった。

## 2 教育問題

## (1) 化学物質過敏症の子どもたちの教育環境について

## 教育長答弁

学校新設の際の新築工事や大規模改修工事では、自然素材の木材を使用してシックハウス対策製品を指定し、人にやさしい材料を使用している。工事後にはVOC(揮発性有機化合物)の測定を行い、安全性を確認。既存校舎でも「学校環境衛生基準」に基づき測定を行い、安心・安全な学校施設の建設、維持管理に努めている。

教科書など教材の化学物質の影響については、各教科書会社が植物油インキを使用するなど配慮しており、化学物質過敏症の児童生徒には、天日干し処理や全ページコピーなどの「対応本」を配布している。近年、化学物質過敏症に対する関心が高まっていることは承知している。その影響は誰にでも起こりえることを踏まえ、常に最新情報をもとに安全性の高い製品を使用し、学校・保護者と連携し、化学物質過敏症に苦しむ児童生徒に寄り添った対応をしていく。

## (2) 学校施設のバリアフリー化について

3月の一般質問で、年間4校のエレベーター設置方針を表明したが、本市には135校の小中学校があり、全校設置までに30数年を要する。ペースアップが必要。

## 教育長答弁

中期財政計画との整合性を図りながら、要配慮児童・生徒の

在籍状況を考慮しながら、エレベーター設置計画の見直しを図る。

## 3 公共交通問題について・狭小電停の解消について

## 都市建設局長答弁

狭小電停がまだ14電停残っている。道路幅が狭いなど拡幅に十分な余裕がなく、関係機関などとの協議や工事施工の期間に課題があるが、利用者の安全の観点からバリアフリー化は喫緊の課題と認識。高齢者・障がい者等に参画をしてもらいながら、バリアフリー化の優先順位を改めて検討する。

## 4 環境問題について

## (1) クリハラリスの根絶について

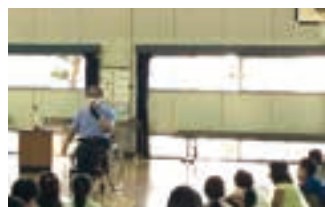
熊本県・宇城市・宇土市の行政と地域と専門家が連携し、協議会を構成したことで早い段階からクリハラリス根絶の取り組みを実施できた。それにより、宇土半島のクリハラリス根絶に繋がった。熊本市も早い段階で協議会に加入できたことで、クリハラリスが国道3号線を超えることを防ぎ、熊本市への侵入を阻止することが出来た。なお、宇土半島でのクリハラリス根絶は、世界的に珍しい取り組みと評価されている。

私は、クリハラリスの情報を得たことで、一般質問で3回質問し、熊本市の注意を喚起した。

## (2) アライグマ対策について

平成29年度から令和4年8月までの5年間で122件が確認されている。そのうち16頭を捕獲した。確認場所は北区や西区が多く、植木町での件数が増加している。本市では平成29年度から足跡や糞などの痕跡調査や自動撮影カメラの設置で生息状況調査を行い、生息が確認された地域に箱かなを設置し捕獲に努め、近隣市町の宇城市・宇土市・玉東町と連携した

## 村上ひろしの活動



大江小学校  
子供たちに車いす講習会



熱海土石流募金カンパに参加  
ビブレス広場前



九品寺地区からの要望だった  
道路舗装と排水溝が完成。  
確認しました。



九品寺公民館で地域自治会と  
熊本市防災総室との意見交換



ヨット愛好家の皆さんと江津湖のウォーターレタスの  
繁殖状況を現地調査



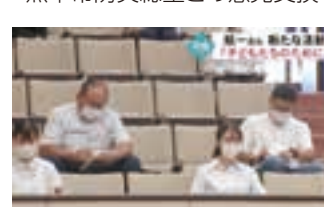
熊本CSの会(化学物質過敏症)の  
皆さんの味噌販売会に参加



託麻東小学校車いす講習



はぐくみ地域子ども食堂  
野村さんご夫妻と



9月議会  
宮津航一くん親子で村上博の一般  
質問を傍聴いただきました。



宮津航一くん(18)から  
ファミリーホームの要望を  
受ける。



9月議会市政報告会  
一般質問内容を説明後、子ども食堂を運営の野村順子さんから、  
「いま、子ども食堂が必要なわけ」の講演。